

## 研究名

経皮的冠動脈形成術施行後の抗血小板薬 2 剤併用療法にプロトンポンプ阻害薬併用が及ぼす影響

### 1. 研究の対象

2020 年 6 月から 2020 年 9 月の期間に当院に入院し、クロピドグレルもしくはプラスグレルを投与された患者のうち、プロトンポンプ阻害薬やボノプラザン併用した 70 例

### 2. 研究目的・方法

経皮的冠動脈形成術後の抗血小板薬 2 剤併用療法（DAPT）では、消化管出血を防止する目的でプロトンポンプ阻害薬やボノプラザンが併用される。しかし、DAPT に適応を持つクロピドグレル、プラスグレルは CYP による代謝が活性化に関与するため、CYP2C19 の基質である PPI やボノプラザンとの併用により抗血小板作用が減弱する懸念がある。そこで、済生会横浜市南部病院においてこれらの併用が抗血小板作用に及ぼす臨床的影響を検討する。

2020 年 6 月から 2020 年 9 月の期間で、当院入院のクロピドグレルもしくはプラスグレル投与例のうち PPI、P-CAB 併用例を対象とし、PCI 後 6 ヶ月以内にステント血栓症を含めた心筋梗塞再発等の虚血性イベントの発現率を比較検討した。調査項目は、患者背景、併用薬の有無と心筋梗塞再発等の虚血性イベントの発現率とし、電子カルテを用いて後方視的に調査を行い、 $\chi^2$  乗検定法を検定に用いた。

### 3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報（後向き研究）

### 4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

### 5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 加藤 一郎

### 6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 木原星衣